

筒城まちづくり計画書

2020年度～2024年度

ひとりひとりが、出来る事を出来る時に出来るだけ



長崎県壱岐市石田町
筒城まちづくり協議会
2020年4月策定

【目 次】

1. 筒城地区の概要	1
・ 筒城の地域資源	1
・ 筒城宝の地図	2
・ 筒城地区の今	3
2. ご挨拶	
・ 筒城まちづくり計画について	4
3. 筒城まちづくり協議会設立までのあゆみ	5
4. 筒城が目指す未来への基本方針	6
・ まちづくり計画 事業内容	8
5. 筒城まちづくり協議会組織図	10
6. 添付資料	
・ 住民アンケート集計結果	11

筒城地区の概要

○ 筒城の歴史

徳川中期には和泉村・恋川村・八塚村・山上村・神田村・坂村・蓬萊村・平田村に分かれていましたが、その後東触・仲触・西触・山崎触の4つの集落の筒城村となりました。漁業・農業を中心に海藻類やうに、石鯛、白蟹、牡蠣、福小路の牛房、高坂の箭竹、下田の浜防風などを名産としていました。

1889年、町村制の施行により石田村・池田村と合併し、「石田郡石田村」の一部となり更に1896年の郡制の施行により壱岐郡と石田郡が合併、壱岐郡の管轄下に入りました。1970年町制の施行で石田町となり、2004年郷ノ浦町・芦辺町・勝本町と合併し壱岐市の管轄となり今に至ります。

現在は漁業の他葉タバコやアスパラガスの生産が盛んであり、ブランド牛「壱岐牛」の飼育も増えつつあります。

○「筒城(つつき)」地名の由来

諸説ありますが、昔村の中に「筒の城」というお城があり、このお城の跡がある事から「筒城」と呼ぶようになったという説や、城州男山（京都：石清水八幡）より宗社八幡大神が渡航中に、天候不良の為7日間村に滞在した際長岳の丘（金刀比羅神社辺り）に登られ、東に清水（京水）、南に蓬萊、西に和泉、北に福小路と美しい景観が「つづいて」と褒められたという神話から「筒城」となったなどの説があります。

筒城の地域資源

交通	公園・名所・旧跡・寺社仏閣
バス 壱岐交通	筒城七浜【①筒城浜（宮の浜）・②唐瀬浜（唐船浜）・③大浜（唐船の大浜）・④乙島浜・⑤小松浜・⑥小浜・⑦錦浜
道路 壱岐空港線（県道65号線）	①白山神社（權現さん）
市道山崎線・市道錦山尻線	②金刀比羅神社
市道七湊線	③白沙八幡神社
空路 壱岐空港	④祇園神社（素佐之男神社）
産業・特産品	⑤乙宮神社
漁業 農業	⑥海神社
米 ウニ 葉タバコ 和牛 アスパラ ニラ	⑦西福寺
教育施設	⑧小松・作助の墓
筒城保育園・筒城小学校	夕部堂
主な公共施設	重山塚
筒城公民館	筒城源三神社（百姓源三関連史跡）
筒城浜ふれあいセンター	
筒城浜ふれあい広場レストハウス	

※ 公園・名所・旧跡・神社仏閣の番号は、次ページ『筒城 宝の地図』を参照

筒城 宝の地図 (ほんの一部)



筒城地区の今

○ 平成22年度から令和元年度までの人口の推移

年度 地区	平成22年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
筒城西	86	81	167	86	84	170	88	80	168	85	83	168	84	78	162	80	76	156
山崎	79	90	169	71	85	156	70	83	153	66	86	152	62	78	140	62	79	141
筒城仲上	60	63	123	51	54	105	50	55	105	51	55	106	52	55	107	51	49	100
筒城仲下	56	66	122	60	62	122	59	63	122	59	63	122	58	57	115	60	64	124
筒城東北	48	42	90	48	42	90	48	41	89	46	41	87	45	35	80	46	35	81
筒城東南	80	81	161	77	81	158	80	75	155	78	76	154	76	77	153	76	79	155
合計	409	423	832	393	408	801	395	397	792	385	404	789	377	380	757	375	382	757

筒城はここ10年でおよそ1割(9.0%)の人口減となっています。少子高齢化に何とか歯止めをかけなければ、数十年先には消滅の危機さえあります。

【参考】

	平成22年度	令和元年12月末	
壱岐市	32,544	26,437	18%減
石田町	4,621	4,191	9.3%減

.....こんまで良かと!?

このまま人口が減り続けたら、この透き通った海を、真っ白な砂浜を、綺麗な松林を誰が守って行くの?。田んぼや畠は荒れてしまうよ?。伝統ある神社のお祭りはなくなってしまうの?。筒城の歴史を、私たちの代で終わらせてしまって、本当にいいの?。

よか訳なかろうもん。

という事で、筒城は立ち上がる決心をしたのです。



ご挨拶

この度、筒城まちづくり協議会の会長を務める事になりました喜多でございます。私共筒城地区は、地域で解決できるものは地域で解決していく事を目的に、行政と地域が一体となった新たなコミュニティの場として、筒城まちづくり協議会を立ち上げました。

筒城地区の現状を把握し、問題点などを皆様方と一緒に論議しながら安全で安心な住み良いまちづくりを推進して参る所存でございます。どうぞ、役員の皆様・地域の皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げご挨拶とさせていただきます。



令和2年4月
筒城まちづくり協議会
会長 喜 多 丈 美

筒城まちづくり計画について

筒城地区は、筒城西触・山崎触・筒城仲触・筒城東触の4集落からなり、6つの公民館で構成されています。近年では少子高齢化で過疎化が進み、現代社会の抱える多様な問題に対応する力も弱まりつつあります。このままでは、今まで地域で守り続けてきた伝統や歴史さえ失われる危険性さえあるのです。

価値観やニーズが多様化し、地域のふれあいも薄れつつある今、誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、自分たちでまずできる事を探してみる。そして身近な問題からみんなで協力し合って取り組んでいく。そういうことで新たな繋がりができ、「まち」になっていくものと考えます。

本計画は、コミュニティを原点から考えなおし、長所も短所も全てを受け止めて向き合い、みんなで考え方行動する。そして筒城に住むみんなが、筒城を誇れる事ができるようなまちづくりの実現へのスタートラインとして策定するものです。

筒城まちづくり協議会設立までのあゆみ

年	月	日	活動内容	備考
令元	7	23	まちづくりについてSDGs未来課より説明	筒城地区公民館連絡協議会
				幹事会メンバー決定
	9	24	第1回幹事会	
	10	11	第2回幹事会	他地区の状況調査
				今後の計画
	10	29	まちづくり協議会説明会	筒城地区住民
	11	7	第3回幹事会	設立準備委員会について協議
				拠点施設の決定
	11	27	筒城まちづくり協議会設立準備委員会(第1回)	規約・活動計画等承認
	12	9	第4回幹事会	アンケート内容検討
	12	19	筒城まちづくり協議会設立準備委員会(第2回)	
	12	26	第5回幹事会 アンケート調査の配布	
	1	15	アンケート調査の回収	
	1	31	第6回幹事会	アンケート集計結果報告
	2	7	筒城まちづくり協議会設立準備委員会(第3回)	アンケート集計結果報告
				及び部会別検討会
	2	13	第7回幹事会	検討結果の分析等
	2	22	筒城まちづくり協議会設立準備委員会(第4回)	部会内との内容検討
	2	27	第8回幹事会	計画書素案作成
	3	10	第9回幹事会	計画書素案作成
	3	12	第10回幹事会	計画書素案作成
	3	16	筒城まちづくり協議会設立準備委員会(第5回)	



筒城が目指す未来への基本方針



～ひとりひとりが、出来る事を出来る時に出来るだけ～

それが無理せず出来る事をコツコツと
なご～続けらるるごつ、ぼちぼちきばりまっしょ!

筒城の明るい未来に向かって、ああ出来たらいいのにな、こうできたらいいのにななど夢は溢れんばかり。でも、いきなり無理な目標を立てても長続きしなければ意味はありません。ひとりひとりが無理せず楽しく参加していくように、まちづくり協議会は住民の皆さんとの声にしっかりと耳を傾け、サポートしていきます。

《一致団結ぬくもりいっぱい 白砂青松の美しいまち つつき》

ひとりひとりの力は小さくとも、人情豊かな筒城の人が力を合わせれば思わぬ力が出ちゃうかも。今までだってみんなで助け合って地域の伝統や文化、美しい白砂青松を守り続けて来たんです。これからもしっかり子供達に受け継いでいかなければ、壱岐の八百万の神様に申し訳がたちません。筒城は日本の100選に3選も輝いた、(日本の白砂青松100選、日本の渚100選、日本の快水浴場100選)全国に誇る事の出来る壱岐随一の砂浜を有しています。もっと多くの人に、この小さな島にある宝石の数々を知ってもらう為にも、一致団結してみんなの宝を守り続ける活動を進めていきます。



◇ 総務部会 未来目標

○ 皆が一致団結して未来へつなげるまちづくり

《基本方針》

- ① 皆で支え合う交通支援の体制をつくります。
- ② 地域内の伝統を引き継ぎつつ、新たな事にも挑戦するまちづくりを進めます。

◇ 安全・安心部会 未来目標

○ 安心して暮らせるまちづくり

《基本方針》

- ① 各種研修会及び講習会開催への取組みをします。
- ② 各種災害に対する備えへの取組みをします。
- ③ 自主防災組織の広域化への取組みをします。

◇ 地域づくり部会 未来目標

○ 自然豊かで美しい、住み良いまちづくり

《基本方針》

- ① 地域内の環境の整備を行い、安全な交通環境をつくります。
- ② 筒城地区の文化を継承し、子供から高齢者まで皆が楽しく暮らせる取り組みをします。
- ③ 自主防災組織の広域化への取組みをします。

◇ こども部会 未来目標

○ 地域の絆でみんなで子育て 明るいまちづくり

《基本方針》

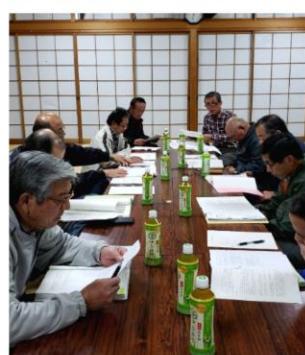
- ① 笑顔で思いやりの気持ちの持てる子供を育てます。
- ② 元気な挨拶ができる子供を育てます。
- ③ よく学び・よく遊ぶ子供を育てます。

まちづくり計画 事業内容

◇ 総務部会事業内容

※ 短期・中期・長期とは、それぞれ概ね1年・3年・5年以内での実施を目指します。地域はまち協、行政は壱岐市、協働は双方を指します。

施 策	施策概要	時期			主体		
		短 期	中 期	長 期	地 域	協 働	行 政
交通対策	買い物・通院困窮者の支援事業	○				○	
	コミュニティバス導入の検討	○				○	
コミュニティ組織の検討	子・青・壮・老・婦人会等組織の在り方			○	○		
	空き家対策の検討		○			○	
催事の検討	女性・高齢者の参画促進と 三世代交流のできる催事の企画		○		○		
地域内産業振興の検討	地域内産業の担い手確保対策			○	○		



◇ 地域づくり部会事業内容

施 策	施策概要	時期			主体		
		短 期	中 期	長 期	地 域	協 働	行 政
道路整備事業	地区内道路の維持活動の実施	○			○		
野犬対策	野犬撲滅に対する活動の実施	○				○	
高齢者見守り事業	高齢者の日常生活の見守り及び支援	○				○	
白砂青松保存事業	地区内風光明媚財産の維持活動の実施	○			○		



毎回遅くまで長時間討議していました。地域の皆さんの問題意識の高さは、きっと良い結果につながります。

◇安心・安全部会事業内容

施 策	施策概要	時期			主体		
		短 期	中 期	長 期	地 域	協 働	行 政
各種研修会の開催	健康、教養増進のための研修会の実施	○			○		
各種災害対策	ハザードマップ等の作成		○			○	
	災害時の高齢者対応策の検討	○				○	
自主防災組織の広域化	自主防災組織等の地区内防災組織の連携対策		○		○		



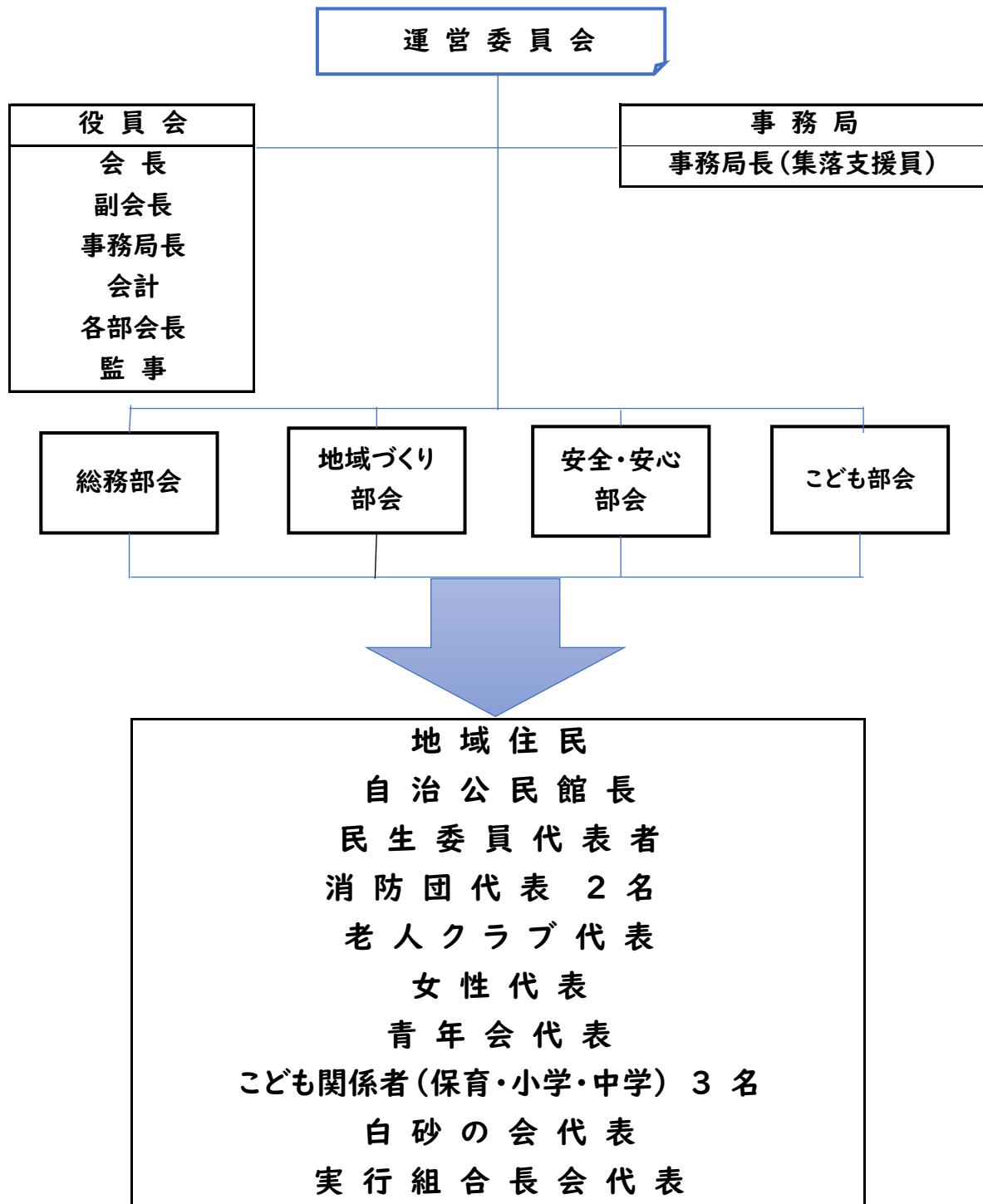
◇こども部会事業内容

施 策	施策概要	時期			主体		
		短 期	中 期	長 期	地 域	協 働	行 政
保育環境の整備	筒城地区内の今後の保育環境・体制に関する対策	○				○	
中学校登校手段対策	石田中学校への登校手段の検討			○			○
地域の歴史・伝統継承活動	白沙の会を中心とした歴史・伝統の継承及び三世代交流事業		○		○		



筒城まちづくり協議会組織図

筒城まちづくり協議会は、住民の皆さんをはじめとした各種部会・団体で構成されます。それぞれが明るい筒城の未来という同じ目標に向かって力を合わせてまちづくりを推進していきます。

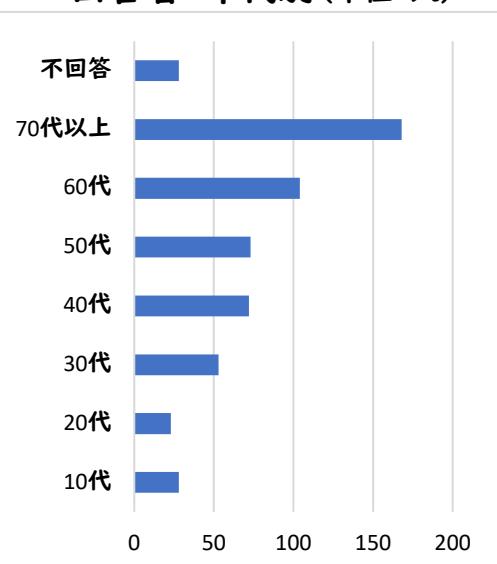


添付資料

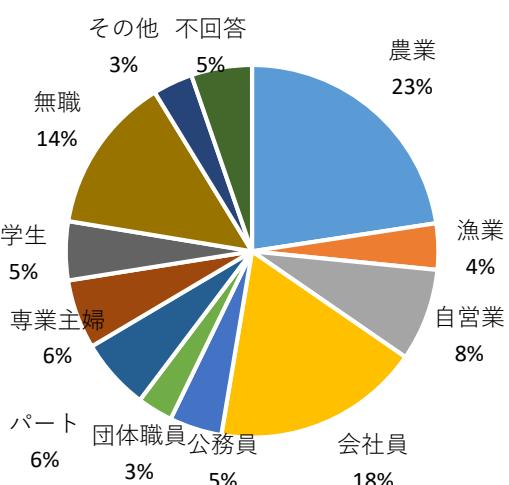
地域住民のみなさんが、筒城の事を日頃どう考えておられるのかを把握する為に、令和元年12月、中学生以上の住民を対象にアンケートを実施しました。配布対象677名に対し回収は549名分、回収率は81.09%と、まちづくりに対する住民のみなさんの意識の高さを感じましたので、最後に結果を添付させて頂きます。

アンケート集計結果

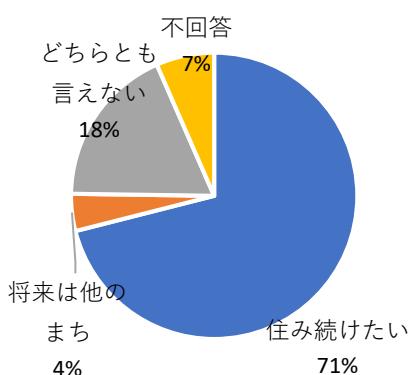
回答者 年代別 (単位:人)



回答者 職業別 (単位:%)



Q. あなたは、これからも筒城地区に住み続けたいと思いますか。



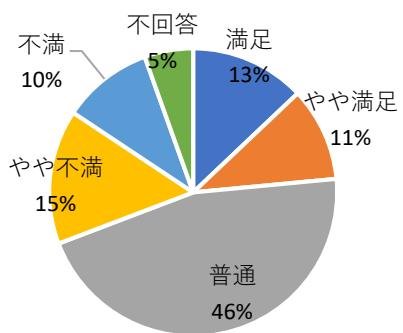
1 今後も住み続けたい	390人
2 将来は他のまちに移りたい	23人
3 どちらともいえない	100人
不回答	36人

■ 約7割の方が「今後も筒城に住み続けたい」と回答されましたが、高齢の為住み続けざるを得ないとの意見もありました。



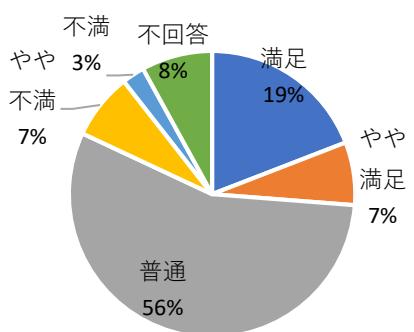
Q. あなたが感じている筒城の現状について教えてください。

◇生活道路の整備環境について



- 市道でありながら狭く凹凸やひび割れがあり、児童や車両の通行に支障をきたす道路がある。
- 修学旅行など、大型バスが通る事が多いのに道が狭すぎる。通学路に歩道もなく危険。
- 筒城小学校前の道路を広くして欲しい。筒城浜にジョギングコースができてから車の通りが増えたが、歩道も狭いので危険。雨の日は水溜りもできて、タイヤが水をはねて児童にかかっている。
- 側溝や排水溝に土やシバ等が詰まっている所が多く放置されている。
- カーブにガードレールを設置して欲しい。

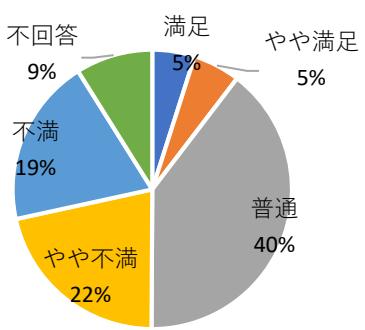
◇ごみ、リサイクル収集について



- ごみの分別がこまかすぎる。
- ごみの回収ボックスの蓋の位置が高く、高齢者は蓋を開けるのもごみを抱えて入れるのも大変。
- リサイクルごみの分別をちゃんと理解していない高齢者が多い。
- ごみ捨て場が遠い。



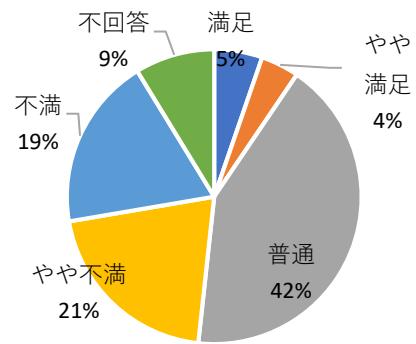
◇公共交通の利便性について



- 公共交通機関などのインフラ整備が不十分。とにかく不便。
- バスの便数を増やして欲しい。時間の計画が立てにくい。
- バスの路線がない。
- バスは小さくていいのでノンステップバスにして欲しい。今のバスだと高齢者は乗降さえ困難。

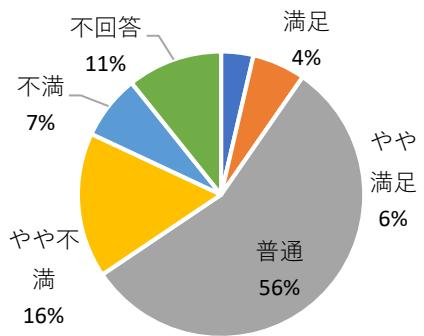


◇食料や生活品の確保、買い物の利便性について



- 郷ノ浦・芦辺まで行かないと思う物も買えない。
- 町内にスーパーがない。コンビニが欲しい。夜、仕事帰りに買い物もできない。
- 将来車が運転できない年齢になった時には、食料品や生活用品の確保ができなくなる。
- 車で買い出しに行けない高齢者の為に、定期的に移動販売車に来て欲しい。
- 買い物用に乗合タクシーがあると助かる。

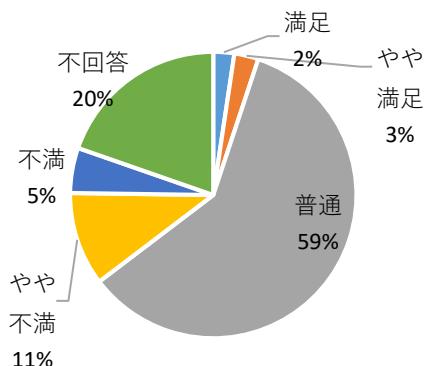
◇高齢者等への福祉環境について



- 介護など福祉関係が充実していない。
- 民生委員と消防団の高齢化及び身体障がい者等の把握と情報共有ができない。
- 買い物難民・通院難民への対策がなされていない。コミュニティバスの導入や公共交通機関の見直しを。

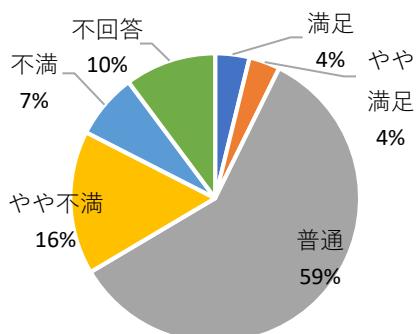


◇子育て支援環境について



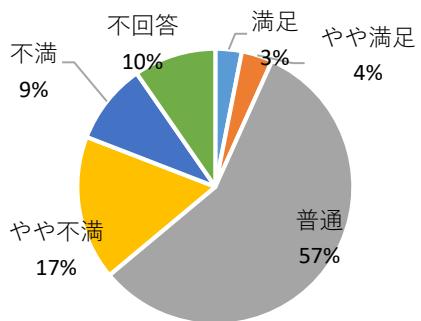
- 子供の通学路に不安がある。街灯がない・歩道がない(狭い)・野犬が多い・草木が生い茂っている・人の目もない。
- 中学校まで距離がありすぎる。スクールバスの導入を検討して欲しい。
- 保育所の統廃合の説明がない(少ない)。地域に保育所や幼稚園がないことは、まず移住先の選択肢から外れる。それでは人口の増加は望めない。

◇防犯、安全対策について



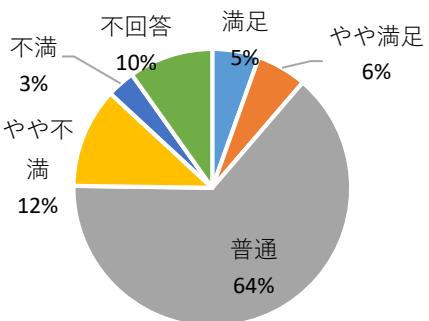
- 日中年寄りしか家にいないのに物売りが来る。詐欺も多いのでパトロールを強化して欲しい。
- 不審者を見掛ける。
- 街灯や防犯カメラがない。一人歩きはできない。
- 野犬が多く、牙をむいてくる事もある。子供はもちろん高齢者も危険。野犬狩りを強化して欲しい。

◇災害時など緊急時の安全対策について



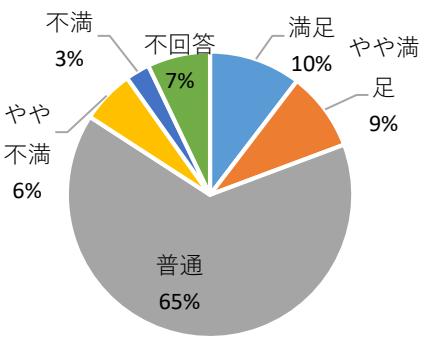
- ハザードマップが全戸にない。
- 公民館や婦人会などに入っていないので、何かあった時の避難場所や避難の仕方がわからない。
- 避難所の整備（避難物資の保管など）状況が不明である。
- 避難場所や経路について 各種災害の種類によって異なる事への対応が不明。
- 一人暮らしの高齢者が多くなり、緊急時の連絡体制が心配。
- 消防団員の減少。

◇地域の行事について



- 地域行事が多すぎる。子育て（保育園や学校行事を含め）・仕事・日常生活をしていく中で地域の活動に参加する事は難しい。
- 少子高齢化がこのまま進むと、地域の行事の存続が難しくなっていく。
- もっと子供から高齢者までが一緒に参加できる行事を企画してはどうか。
- 行事への高齢者・女性の参加が少ない。
- 地域のお祭りなど、前準備に人手が集まらない。

◇住民同士のふれあい、近隣関係について

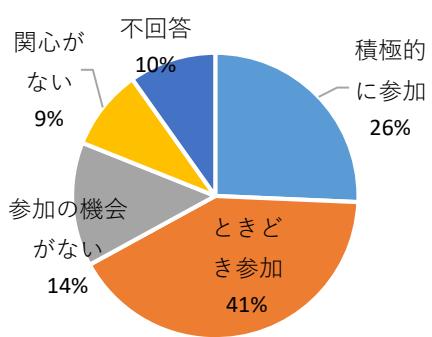


- 地域内でのコミュニケーションが減ってきている。
- 隣保班で家族総出で集まる事もなくなり、日常のお付き合いもなく都会のようで寂しい気がする。
- 地域に助け合うという意識がある。
- 高齢者からの伝統文化や郷土料理の継承をしていくために、普段から世代を超えたふれあいの場を設けられたらよい。

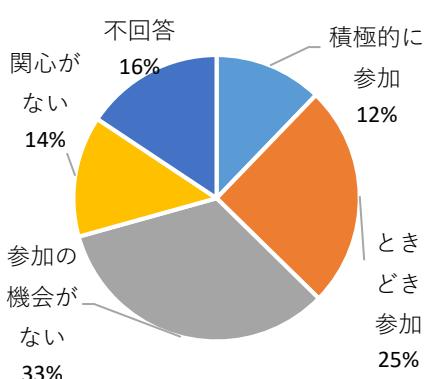


Q. 今後どのように地域活動に関わっていきたいですか。

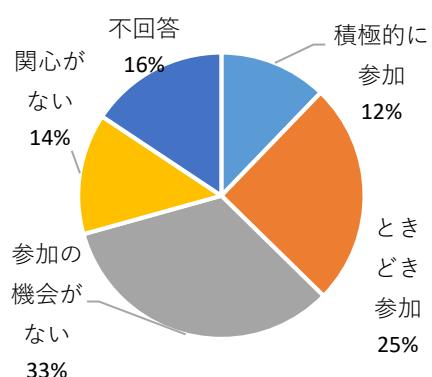
◇自治公民館活動について



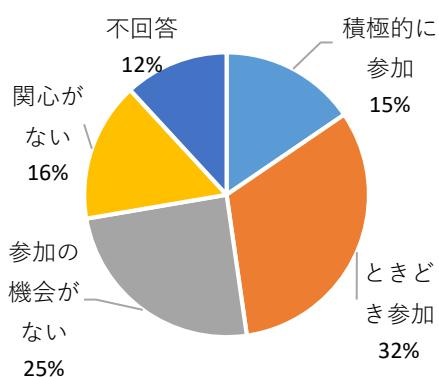
◇青少年健全育成活動について



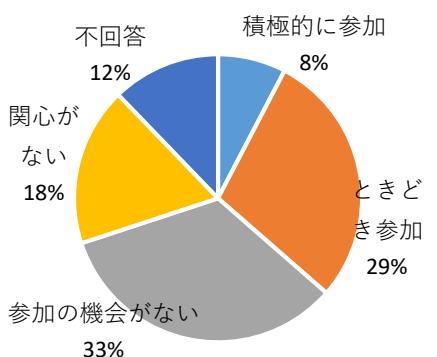
◇環境美化活動について



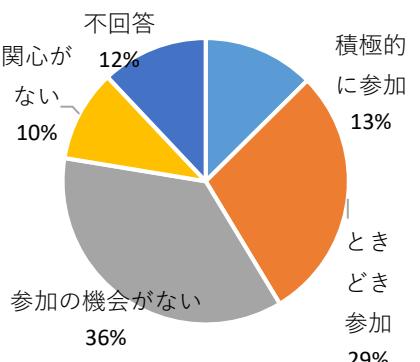
◇趣味、教養、芸術、スポーツなどのグループ・団体活動について



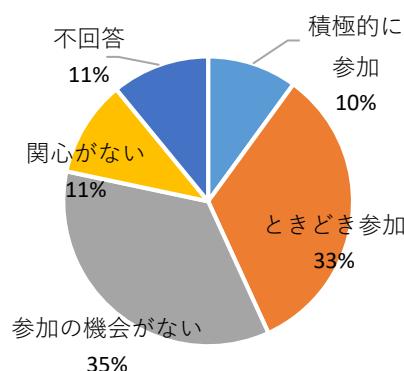
◇伝統文化、芸能保存活動について



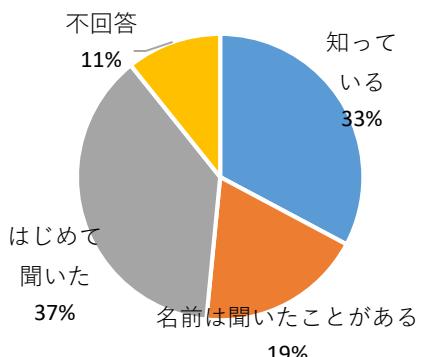
◇防犯、防災、交通安全活動について



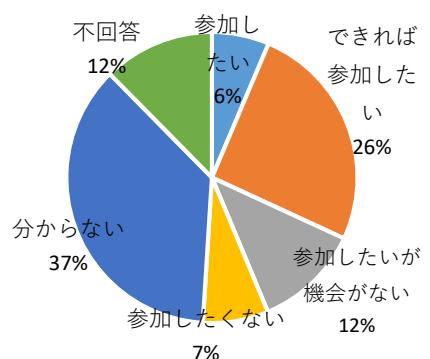
◇ボランティア活動について



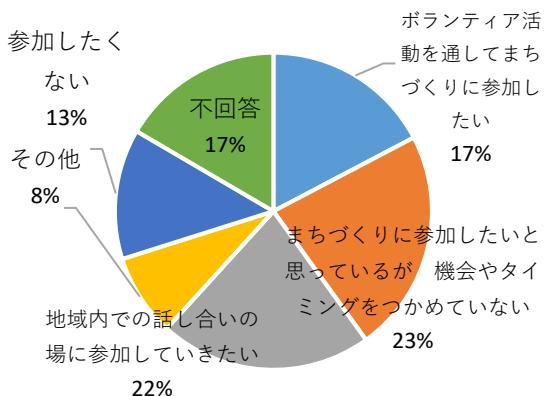
Q. 筒城まちづくり協議会設立準備委員会が発足し、まちづくり計画の策定を準備していますがご存知ですか。



Q. 筒城まちづくり活動への参加について



Q. まちづくり活動にはどのような形で参加したいですか。



他にも、たくさんのご意見を頂きました。

***日常の暮らしの中で不安に感じていること、困っていること**

- ・街灯がないので夜は歩けず、車で走行中も人物がわかりづらい。
- ・体が不自由なので思うように動けない。
- ・道路の幅が狭く、歩道も狭い。ヒヤリハットすることがある。早急に対応を。
- ・筒城浜線の道路が狭く、観光道路として役立っていないので拡張してほしい。
- ・大雨時 子供の通学路が冠水する。
- ・シルバーカーの専用道路がない。
- ・玄海原発事故の場合の避難経路・方法など 防災関係の不安。
- ・防災の面での対応がもう少し出来たらと思う。
- ・道路拡張に伴い、該当区画の防火水槽の移設があるのか？また、自動給水化を並行して行うのか？。
- ・海拔があまりないため、災害が不安。

- ・災害の時、緊急時に今まで出会っていないような事がいつ起きるか どのような事になるか騒動になるか見当もつかない。
- ・それぞれの家が点在しているため防犯が不安。
- ・子供の通学路の防犯・安全性が不安 。
- ・小学校の登下校は人通りが少なくスピードを出す車も多く、防犯面・安全面から子供だけでの通学が困難。
- ・少子化により子供が特定の友達としか接する事がなく、色々な経験や活動ができない。
- ・子供の通学路が不安。街灯がないのはもちろんだが、草木が生い茂り危険。昔は田畠で近所の方が仕事をしていて人の目があったが、今はそれもなく安心して送り出す事ができない。思いがけない事件が起こるかもしれない。
- ・小学生は少人数で学べる為良いとは思うが、逆に競争心がないまま中学校に行く為、そこはどうなのかなと思う。
- ・子供が少ないのにまちができるですか。
- ・保育所の入園取り纏め中止から一転して令和年度は受け入れを行うこととなり、早期に保護者会と協議しつつ今後の方向性を見出すようになっているが計画性がない。また、保護者に限らず地域(代表者)との協議も必要ではないか?。
- ・保育所の統合化(廃園)説明がない、少ない。将来が不安。
- ・筒城保育所の石田への統合による筒城地区の活気の減少(地区民運動会、子供の声)。
- ・将来車が運転できない年齢になった時には、食料品や生活品の確保ができなくなる。
- ・車で買い出しに行けるのも元気なうちだけ。車の移動販売があれば高齢世帯の助けになるのは。
- ・郷ノ浦・芦辺まで行かないと思う物も買えない。
- ・町内にスーパーがない。コンビニが欲しい。夜、仕事帰りに買い物もできない。
- ・一月に2回程移動販売車に来て欲しい。
- ・お金の出し入れに困る。
- ・このままさびれていくだけ。修学旅行もその時だけ。明るい未来は見えない。
- ・観光客の減少
- ・個人住居用火災報知器が未設置である。
- ・消防団活動に対し、ある一定の理解はあるものの昨今では個人が優先される時代背景とともに自助・共助の理解が薄れている傾向にある。⇒入団勧誘時に本人の意思を尊重することは重要ではあるが、家族・地域からも入団の推奨を頂きたい。
- ・公民館・消防団・PTA・青年会それぞれに役が多すぎる。
- ・婦人会など地域活動の在り方について。無理なくできる範囲で存続していく事が大切だと思うのだが、石田町婦人会自体、解散の方向で話が進んでいっている。
- ・神社(特に末社)の例祭の維持(社役の担い手不足)。
- ・不漁
- ・海岸沿いはテトラポットや岩が入り、潮の流れが変わり干潟もなくなって生態系も変化している。
- ・漁業者だが、漁獲量が減少している。磯焼け対策に協力していきたいが…。
- ・イベントがあっていても駐車場の確保ができていないので移動はほぼ自家用車なのに車を停める場所がない。あるイベントはピストンのバスがあるようだが、なかなか利用もできていない様子(バスの利用先でも駐車場が利用できない)。
- ・交際費(冠婚葬祭)が年金暮らしの中で多すぎ・派手すぎ。

- ・高齢化で地域活動の役が何度も回ってくる。その度に金一封や樽が増え生活の負担増になる。
- ・高齢者の車の運転が心配であるが、公共交通の利便性が低い現状では自家用車に頼る必要がある。
- ・タクシー・バスの運賃が高い。気軽に利用できない。
- ・人口減少・高齢化とそれに伴う生産性能力の減退や、伝統文化の継承が滞ることが懸念される。
- ・子供達が島を離れ、親が高齢になり、宅地周辺の環境整備ができなくなった場合、親たちはどのように対応すればよいのか。
- ・介護保険料が高額
- ・高齢者が増えていく事で若い世帯への負担が増える。
- ・若手と年配者との意見が合わない。
- ・筒城地区は元々農業・漁業の他観光が盛んであった地域であったはずだが、近年海水浴場の周りや釣りで人が集まっていたエリアの漂着ゴミの多さが目に余る。
- ・道路際のゴミのポイ捨て
- ・粗大ごみなどの不法投棄。
- ・安定した収入が見込める働く職場がない。
- ・後継者の仕事がない。
- ・ヘリコプター・飛行機の騒音がうるさい。民家がある場所はもっと距離をとって飛行して欲しい。夜は船(砂を下ろしている?)がガタンガタン。体調を崩している時は遠慮してもらいたいと思う程騒音に感じている。
- ・家や辺りのネット回線が悪い。
- ・家の周りに別町より子猫を連れてきて放置する人がいて困っている。
- ・野良猫が家の中に入って食べ物を取ったり荒らしたりする事がある。
- ・唯一の観光資源である海への導線がわかりにくい。海でこれからも人を呼びたいならもっと分かりやすく整備した方がいい。
- ・修学旅行など大型バスが通る事が多いのに道が狭すぎる。
- ・以前、家の門口まで道が広くなる計画があったのだが、何かの原因で立ち消えになった。もう一度そういう計画を出すことはできないのか。
- ・救急搬送時 病院まで時間がかかりすぎる。
- ・介護など福祉関係が充実していない。
- ・財政面での後押しが必要な事も多い。ボランティアといえどそれ程ゆとりのある生活ができている訳ではない。



- ・空き家対策(廃屋をどうするか)
- ・空き家が増えて犬や猫の巣になっている。
- ・海が汚い
- ・完全過疎化が進む。
- ・年老いて車の運転ができなくなったらどうやって生活していくかなと思う。
- ・高齢化で道路や周囲の環境整備が困難になってくる不安がある。
- ・人口減少で集落の維持管理や道路修繕などが大変。
- ・未整備の森林の増加
- ・セイタカアワダチソウが増えて家の敷地内にも種が飛んできて困っている。
- ・道路の側溝や排水溝に土やシバ等が詰まっている所が多く、放置されている。



- ・壱岐全体が行事が多すぎるので、仕事を休んだり子供を預けて参加しなければいけないので大変だ。
- ・地域行事（運動会・バレー・ソフト等）が多すぎる。
- ・サロンなどがなく、皆での行事ができない。
- ・行事への高齢者の参加者が少ない。
- ・高齢の身でも班のお世話係が回ってくる。若い人が少ないので仕方ないのだろうが、体力的にも精神的にも負担になる。何とかならないのだろうか。
- ・地域のお祭りなど、前準備が必要な時に人手が集まらない。
- ・公園に子供達の遊具などがあったらいいと思う。
- ・歩いて行けるような場所に公園がなく、子供が遊べる場所がない。
- ・高齢化・人口減少で地域の活力が徐々に落ちていること。
- ・若者の中に将来を不安視する人が少ないと感じる。ただ現状が良ければ良しとする風習が漂う。一方高齢者も、自らどうしようという意欲が少なすぎる。高齢者ももっと表に出てくる活気ある地域にすべき。
- ・近隣住民の絆がなくなってきた、手間の掛かる件などは避けて通り、個人が公の為にできる事をしなくなってきた。
- ・道路が草だらけ
- ・きれいな公衆トイレが欲しい。
- ・貧困と孤独死
- ・単身生活なので、現状維持ができなくなった時が心配。
- ・自分も含め周囲の独居老人や空き家が増えてきて、将来的に不安を感じないではいられない。
- ・県道を車がスピード違反で走る。
- ・狭い道でウインカーを出さずに方向転換したり、道路の真ん中をずっと低速で走ったりする車が迷惑。
- ・高齢者ドライバーの運転が危ない。
- ・高齢者の交通マナーが悪い。
- ・筒城管内の消防水利（防火水槽）未設置区域が点在する。
- ・地域の安全管理に不安がある。
- ・時々家の近くに不審な車が止まっている。
- ・高枝が繁っていて伐採が大変。
- ・県道修繕・農道修繕で通らない道のしきりや側溝の掃除（整備）が行き届いていない。
- ・電線・電話線が支障木に囲まれており、今後大型台風がくれば甚大な被害が想定される。
- ・カラスが多くていたずらが多い。
- ・リスの駆除をして欲しい。
- ・道路がアスファルトではなくコンクリートで割れている。街灯がない。子供達の安全が確保できているとは言い難い。
- ・基幹道路（市道筒城七湊線）の整備が不十分（離合時に不便な箇所が多い）。
- ・筒城仲上（福川）のバス停から喜多店までの道が狭い。バスが通る道なので広げて欲しい。
- ・高齢者が多くなり、身近な道路・排水路の日常的な維持管理ができなくなり不便になってきたが行政は幹線的なものには手を出すぐ、小さなものには手を出さない。併せて幹線的なものにも所有権などを考慮してなかなか手を出したがらない。
- ・農業の衰退化（農地の遊休化及び耕作放棄地）が顕著である。



・貸し農地の将来的な管理（継続的な借り手の確保）。⇒農業の発展による生活基盤の強化を図るために必要な個所は農地整備を行い、状況によっては入植者（筒城への永住者）を募るなど行う。

・若い人が壱岐から離れ、農業の後継者がいなくなり田畠が山になるのが不安。

・今後の農地の使い方。



*筒城で自慢できるもの

・西福寺（アジサイ、子育て）

西福寺
ハート型のお手水鉢
「水琴窟」

・お寺や神社の協力で子育ての環境がよい。

・筒城浜～大浜～錦浜へ続く海岸線。筒城浜～錦浜間の海岸線の整備をすれば一段と良くなるのでは。

・筒城浜海水浴場が日本の水浴場88選・日本の渚百選に選定されている。他にも大浜や錦浜など白砂の海岸で美しい景色が広がっている。

・観光資源の多さ。

・小学校運動会の地域をあげての楽しみ。長く続いて欲しい。

・筒城小・保育園の行事に、保護者だけでなく高齢者も見物や参加ができるところ。

・行事などの伝統文化の継承がなされている。

・白沙八幡祭り

・壱岐空港があること

・夕部バス停から山崎公園の間に見える、山崎地区と青島と海の風景。

・小学校と地域が協力し合って子供の成長にかかわっていること。

・地域の子供の素直さ・明るさ。

・保育所・小学校 先生方の協力もあってとてもいい環境で子供達が育っている。

・保育所・小学校は、小規模でアットホーム。地域全体で子供を見守ってくれている感があり安心。

・通学合宿



・中年層・若年層での結束力（一部地域を除く）

・地域に助け合うという意識があること。

・地域内の人間愛は自慢できる。

・地域のつながりが強い。人間関係が良好。

・地域の連携密着度

白沙八幡神社

・人付き合いの良さ



・公民館のまとまりがあること。

・みんなが優しい。親切な人が多い。

・子供も大人も挨拶がよくできている。

・地域の人が積極的に様々な活動に携わっていてコミュニケーションが取れている。

・子供達の行事に積極的に参加してくれる地域・保護者の方。

・筒城地区民の筒城愛（魂）。

・白砂の会の活動。

- ・人情豊か。
- ・都会ではない大自然
- ・恵まれた自然・環境
- ・消防団。全国を目指すメンバーが揃っている。
- ・山崎消防団（女性）
- ・壱岐島七社のひとつ、白沙八幡神社。参道・大鳥居。
- ・神社や地域のお地蔵様などを住民皆で大切に奉っていること。
- ・素佐之男神社の御神幸
- ・スポーツ環境が整っている。
- ・筒城小運動会の鯛あみ音頭。何十年も続いている。
- ・ふれあいセンター。体育館、屋内テニスコート、キャンプ場、研修・宿泊施設もある。以前は高校生や大学生の合宿や企業の新入社員研修・慰安旅行など多かった。
- ・筒城浜は海がきれいなものもあるがゴミがない。
- ・筒城浜レストハウス
- ・釣り場があることで楽しみが持てる。
- ・わりと道路が整備されている。
- ・筒城浜ふれあい広場ジョギングコース
- ・松林（防風林）
- ・港が3つもある。
- ・海に近い民宿
- ・民宿がたくさんあり、後継者もいるところ。



松林

*筒城は将来どのようになる方が良いと考えるか。 まちづくり協議会でどのような取り組みが必要と考えるか。

- ・Iターン・Uターンを含め空き家の解消を図り、1人でも多くの人が住める地域となることを望みます。
- ・人口増加 ⇒ Iターン・Uターンに積極的に取り組む。人口が増えなければまちづくりなんてできない。人口を増やすための取組みからしなければいけないと思う。
- ・空き家を利用して移住してもらったり、芦辺の「チリトリ食堂」のようにお店を作って活性化。
- ・都会からの移住者が多くなるような取り組み。
- ・他の町のようなイベントの誘致。知名度を上げ、自然と海だけに頼らない。
- ・ビーチバレー大会の開催などイベントを行う。
- ・靈場巡りウォーキングにボランティアの接待を加えたイベントの実施。
- ・ふれあい広場の野外音楽イベントの内容を熟考。
- ・飲食店やスーパーがあれば、住んでいる側も筒城の民宿を利用される方達にも便利になるし、町全体が活性化すると思う。
- ・海水浴客を増やす取り組みが必要。24時間でなくて良いのでコンビニの設置や、空港エリアに飲食店を設置。若者が集まるような居酒屋など。
- ・石田町に大手のドラッグストアを作って欲しい。

- ・100円ショップなどのお店があり、そこに行って一度でいくつかの商品が買えれば移動も少し楽になると思う。
- ・買い物難民をフォローするシステムの構築。
- ・金融機関の巡回車、食品・生活用品の移動販売車を。
- ・環境美化にもっと多くの参加が必要。
- ・観光に力を入れるなら、環境整備を見直していくことが大切。
- ・地域の海岸及び海洋の美化。磯焼けも近年目立っており、魚類貝類も激減している。筒城地区に限らず、町・漁協などで早急に手を打つ必要があると思う。
- ・海岸美化活動（ゴミ拾い）の実施。
- ・青松を未来へ残していく活動。
- ・自慢できる場所の環境整備・景観維持活動の実施（子供達や地域の方も巻き込んだ活動）。
- ・自然豊かな癒しの環境保全。
- ・筒城浜一帯を雑草のない環境にする。
- ・第一に子供達が安心・安全に暮らせる地域にし、永住したいと思える環境を整える。
- ・石田の町との完全合併。
- ・筒城の住民で、筒城地区の将来や在り方を考えることは、大変良い機会であると感じた。
- ・高齢化が進んでいる為、今の自治会の機能が今後果たせなくなる。まちづくり協議会は衰退するであろう自治会の補完ができるような組織になる事が理想。
- ・地域の各団体（婦人会・青年会・老人会など）の在り方について。特に婦人会は組織としてなくしてしまった方向で進んでいっている。無理なく活動を継続していけるよう、まちづくり協議会でも取り組んでもらえたらと思う。
- ・老人世帯・独り暮らし・空き家問題など様々な意見が出ると思うが、まちづくり協議会で取りまとめた内容を公民館単位や青年会、婦人会など意見が出しやすい場所での協議を。
- ・まず地域の希薄化をなくす活動、人づくり事業（取り組み）が必要だと思う。
- ・人の意見を受け入れる協議会に。長くその土地に住んでいると、何を言っても受け入れない人が多い。
- ・もっと地域の未来を見据えた協議・対策が論じられる地域に。
- ・採用された案が良い結果に結びつかなくとも、地域で一丸として行ったこととして記憶に残るものが多いと思う。
- ・もう少し人口が増えてバランスの良い地域になるようにするために、まず古い考えではダメだと思う。
- ・地区住民の協力やネットワークを充実させ活気ある地区づくりを。
- ・安心して生活できる医療と安価な住まいを提供するシステムで人を増やす。
- ・一部の人だけでなく、住んでいる方全員が安心して生活できる事を維持してもらいたい。
- ・多数決によらず、必要な事柄が採用されると良い。
- ・色々な行事が遠い所ではなく地域の公民館などに出張していただければ。少数ではあっても情報や楽しみが身近になる事。
- ・空港滑走路の延伸は反対。海流の変化で漁業に影響の可能性。
- ・空港の延長により町の活性化・経済の発展が期待できると考える。
- ・健康寿命を延ばす為に①筒城地区運動会の中身をもう少し工夫して、子供から高齢者まで一同でできるように。②ウォーキングサークルを作つて活動する。
- ・空港までのバスが少ない為、空港まで歩く旅行客を見ると可哀想になる。
- ・バスを通して欲しい。1週間に1度でも良い。1日に3回程度で良い。
- ・高齢化社会でも交通の便が何とかなれば独居老人でも生活しやすいのではないか。早急に何とかしてもらいたい課題。

- ・コミュニティバスの運行。
- ・筒城浜まで交通機関があれば良い。
- ・本土と橋で繋がると良い。
- ・筒城仲触の海が見える高台に高齢者施設を建てる計画を企画し、福岡の方で経営者を募ってはどうか。見晴らしが良く、野菜畑やみかん園ができたら良い。
- ・地域内に店舗や医療機関がないので高齢者が不便をきたしている。その対応を。
- ・手作り弁当の配布（瀬戸地区で実施中）。
- ・高齢化が進む中で、筒城地区だけでのまちづくりは厳しい。高齢化が進む（独居老人が増える）と分かっている状況で、市の力が絶対的に必要（老人ホームの建設など）。
- ・通院など、弱者をフォローするシステムの構築。
- ・孤独死がないよう、定期的な見回りが必要。
- ・高齢者が住みやすいまちづくり。
- ・介護者の意見交換ができるサロン的な集まりがあれば…。
- ・高齢者や子供が安心・安全に暮らすことができるよう意見を取り入れる。
- ・保育所や小学校の閉所・閉校は免れないと思うが、存続する方法を早々に検討し、元気な地区に。
- ・子供の見守り活動
- ・小学校があるからこそその地域のまとまりだと思う。少人数ではあっても、リーダーの養成・積極的な行動など人間性の向上につなげる。
- ・令和2年度の保育所の申し込みがされなかったのはなぜでしょうか？保育所を残すようにしてください。学校区を残すのには筒城地区人口を守るために保育所・子供達の声・遊ぶ姿は必要だと思います。また、地区的みんなの元気の元ではないでしょうか？。
- ・保育園や学校が統合されると地域の活気も低迷してくることが懸念される。廃校の危機から再生した学校などもある。子供がいる環境というのは、社会・地域にとってはとても大事な事だと思う。子供達が他校区からでも来れる来たいと思うようなまちづくりの取組みができればとも思う。
- ・石田小学校との交流（中学生になってなじみやすいように）。
- ・小学校・保育園の存続は絶対だと思う。地域から子供の声が消えたら地区が衰退していく。
- ・保育園も今後どうなるか分からない状況で、子供を産もうとする夫婦はいなくなるのでは。筒城の将来に必要なのは今の子供達なので、子供達を育てやすくする取り組みが必要だと思う。
- ・誰とでも気軽に声かけできるようになると良い。
- ・高齢者との触れ合いの場が場があればいい。
- ・道路が家の廊下のような、ひとつの家のようになればいいと思う。
- ・核家族化が進む中、相互にコミュニケーションを図り地域で協力し合える筒城地区に。
- ・独居者（男女共）の料理教室的な集りを作り、食べながら親睦を深める（月に1回程度、可能ならば市の栄養士さんのアドバイスなどももらって食の自立や減塩への意識付け）。
- ・運動会以外に、筒城と山崎の交流会があればいい。保育園や学校の関係者は交流があるようだが、老人会も含めての交流がしたい。
- ・サロン（喫茶・軽食などにふらっと立ち寄れる場所）の開設
- ・公民館活動を基盤としたまちづくりの取り組み。
- ・筒城地区民皆で子育て・見守りできる環境作り。
- ・若者が地域の素晴らしさや家族（家庭）の大切さを理解できるような大人と子供との話し合いの場があると良い。
- ・私利私欲の為に行動せず人の事を考え行動できるようになって欲しい。
- ・筒城ワンチームで仲良く。

- ・人の悪口（陰口）を言わずにポジティブに建設的に物事をもっていく。
- ・三世代交流など、誰もが行く道・認知症の方に寄り添い安心できる地域づくりを。
- ・若者から高齢者まで、色々な組織やそれに関係なくともよく集まる地域に。
- ・地区内住民が今以上に親睦・融和が進み、最少は隣保班から部落単位、大きくは筒城地区全体で色々な年齢層、全体での親睦旅行などができる地域になれば最良。
- ・地域のコミュニケーション（顔の見える関係に）。子供から高齢者まで参加できるレクリエーションの企画。
- ・高齢者に優しく、子供が元気に色々な経験ができるまち。
- ・人が行き交う地域に
- ・三世代が住み続けられる社会。
- ・食育の推進。
- ・働く場所・生産性のある農業等。
- ・農業・漁業及び観光により、永続的に繁栄できる街づくり。 ⇒都会化する必要はない
- ・人材の発掘
- ・仕事を増やしたくさん人を呼ばないと過疎化が進むので、職業を増やして求人をだすべき。
- ・筒城浜などの海水浴場に、地元住民も行きたくなるような楽しい場所を作ってほしい。
- ・誰もが筒城に行ってみようと思うような施設でもできたら良いと思う。
- ・道路に面する高枝の伐採を促進。
- ・コインランドリーが欲しい。
- ・カジノ誘致に賛成する。
- ・もっと島外へ島のアピールを。
- ・体験型施設又は民宿を作る。
- ・大自然を大切に守る。特に砂浜松林を守る。
- ・子供達が安全に遊べ、他の地域からも人が集まるような大きな遊具施設、広場を。
- ・ふれあい広場に高の原公園のような大きな遊具やバスケットのリングなどを設置して人が集まる場所に。
- ・今は沖で砂を採取しているかよく分からないが、砂浜が昔の半分もなくなっているので絶対にさせないで欲しい。
- ・キレイと言われる海があるのに冬はほぼ放置でもったいないと思う。
- ・小学校の生徒が減ることが一番悪いので、筒城校区に子連れの若い夫婦が入居できる市営アパートを建設したらよい（なるべく多く）。
- ・ スポーツ合宿が多いので、もっとグラウンドなどを充実させるべき。
- ・民宿などがもっと島外に壱岐の良さを発信して欲しい。五島・対馬・平戸・島原の真似でもいい。お客様が増えれば宿代も安くできるのではないか。自分も島外に出た時はしっかり壱岐の宣伝もし、色々な団体に壱岐に来島してくださいと大きな声で発信している。
- ・農家や漁師の皆さんとの協力を得て、誰でも参加できる体験型学習を増やして人を地域に呼び込む。
- ・筒城ふれあい広場のランニングコースに照明を付けて欲しい。
- ・魚や壱岐牛など美味しいものがいっぱいある。島外からもっと来て欲しい。
- ・ドコモなど電波が弱い。今後の事を考えると、ITなど生活に必要という時に間に合わなくなる。自動運転になってしまって運用できない事も考えられる。方法は色々あると思うが、自動化の実証実験を誘致するなど機会を作って、住みやすい環境になれば美しい地区なので住民の増加も見込めると思う。
- ・筒城は海が近いので、ヨットハーバーなどができるればお金持ちが立ち寄らないだろうか？。



- ・できるなら筒城の文化・歴史は筒城の老人が習得し、若い人に伝えていく。また他の地域から筒城を訪れた人達を案内していくという方法が良いのではないかと思っているが、高齢で自分の事で精一杯。
- ・壱州郷土料理の普及・伝承。
- ・地域内にある歴史的なものを一つでも多く後世に伝える意識の高揚。
- ・高齢者から若手への知識・技術の継承（伝統など）。
- ・主要道路を整備して、歩行の楽な道路づくり。
- ・他の町に比べて道路の整備が遅れている。壱岐で一番の観光地なので、行政ももっと検討して欲しい。道路が広くなればもっと筒城に来る人も増えると思う。
- ・海水浴場をメインとした民宿群の復活と民宿から海水浴場に歩いて行けるビーチロードの整備及び幹線道路の整備。
- ・筒城ふれあいセンターで行事が多くあってるが、筒城小学校からの道がとても悪いのでもう少し美しくしたらいいと思う。高枝切りと、大型バスが離合できる程の幅も欲しい。
- ・圃上整備による集団営農化の実現。
- ・第一次産業の活性化と経済の安定を目指す、荒れた田畠を減らす取り組み（現在も牧草を作って下さっている方や広い田畠を活用して頂いている方々に感謝）。
- ・農業や漁業の第一次産業で生活できる取り組み。
- ・農業の仕方を学べる機会があるとありがたい。
- ・地域内農業の維持継続の為 集落営農組織の推進を図り、農地の荒廃防止はもちろん地域内生産力の維持を図る。また、地域内の圃場の再整備（夕部内外新田、宮の浜など）の実施。
- ・福岡便の飛行機があれば良い。
- ・災害時の対応を地域で訓練するなど検討して欲しい。消防団が減少していくのは分かりきっているので、常備消防の職員を増やす（例えば各まち協に4人とか）よう市に要望してはどうか。市の職員を減らしても消防職員を増やすべき。1度や2度の訓練でAEDなどの使用は難しいと思う。
- ・安否確認ができるようにシステム化。
- ・緊急連絡網（電話番号入り）を各家庭に配布して欲しい。反対意見があってもこれはすべき。
- ・協議することが主にならないよう、目的に向けた実行が伴うような会議運営を願いたい。また、それらに伴う出務が多くなり、地域住民への負担が増大しないように留意願いたい。更に、多くをボランティア（奉仕）精神で行われるのは疑問視する。
- ・ボランティアに頼りすぎるところが多すぎる。
- ・民宿関係者にもまち協に参加してもらいたい。新年会や忘年会は筒城の民宿を利用しよう。
- ・野犬がいる場所等について住民から情報を収集し、市の担当者へ連絡し、野犬狩りを強化する必要がある。
- ・若い人等が定住し、安心して生活できる環境の構築。
- ・地区の景観を守り荒れ地をおこし地区ならではの作物を作り、住宅などを建て若い人々が交流でき住めるようにと思います。働く事業所などもできると良いと思います。
- ・地域の特性上高齢者の生活は制約を受けるが、その中で若者が安心して生活できるような生活環境が必要だと思う。今以上を望むのは無理かもしれないが、将来幾らかでも改善されていけば暮らしが救われるのでは。
- ・若者の人員が多くなるように産業の充実を。
- ・観光業・農業をもっと若い人の力で盛り上げられたらいいと思う。
- ・若い人が遊べる環境づくり。コンサートや映画、マリンスポーツ、カフェなど。
- ・若い人達が地元に残りたくなる環境づくり、過疎化に歯止めをかける為の取り組み。

ご協力いただいた方々

喜多 正 様

山本 富恵 様

筒城地区の皆様

計画書編纂のため活用・
引用させていただいた資料

壹岐名勝図誌

石田町史

壹岐國史

壹岐日報